

98%が大学生活で「成長した」と回答

有効回答数が前年度比で大幅減

2015年度卒業生アンケート(上)

4年間の大学生活について卒業生に意見を聞く恒例の卒業生アンケートがまとまりました。興味深い結果が出ましたので皆さんにお知らせいたします。

今回まとめたのは、2016年3月に卒業した2015年度の卒業生に対する調査です。有効回答数は、前年度より64人少ない296人。内訳は、人文コミュニケーション学科が、前年度比で12人減の139人、社会科学科は、同52人減の157人でした。

統計の正確性に大きくかわることから学生委員会は、2016年度卒業生は、14年度並みに協力していただきたいものであります。

焦点の大学生活4年間について「人間的に大きく成長した」と回答したのは、97.9%、285人で、前年度より0.4ポイント高かった。内訳は、「成長した」(51.9%)、「大きく成長した」(24.7%)、「少しは成長した」(21.3%)となっている。前年度より、「成長した」が5.8ポイント増えて、「大きく成長した」が6.7ポイント減少した。

成長に役立った要因について、「ゼミ・授業などでの学生主体のグループワーク」(56.1%)の回答(2つまで選択可能)が最も多く、次いで「卒業研究」(46.0%)、「アルバイト」(38.1%)、「部・サークル活動」(37.7%)と続いている。



前年度との違いは、これまで4位に甘んじていた「卒業研究」が2位に浮上したこと。この結果「アルバイト」は、3位に、「部・サークル活動」は、4位にそれぞれ下げた。これは、複数回答に変更したことが影響しているかもしれません。

専門科目の授業については、勉強したとの充実感が残ったのは、「5科目」が一番多く、有効回答232人のうち20.3%。前年度より5.7ポイント増えた。これに、「3科目」(17.7%)、「2科目」(12.9%)と続いている。

専門の授業について全体として満足できたかについては、有効回答269人のうち249人(92.6%)が「満足した」と答えた。内訳は、「満足」(37.5%)、「一応満足」(55.0%)となっている。

(学生委員会)

